

**主婦にも“スマートな”働き方改革の波**  
**自分の時給は 1,639 円と主婦が回答！**  
**一番取り入れてみたいスマート家電はロボット掃除機**  
～アイロボットジャパンが「日常の家事に関する意識調査」を実施～

アイロボットジャパン合同会社（本社：東京都新宿区/代表執行役員社長 挽野元）は、全国の20代～40代の既婚女性600名を対象に、「日常の家事に関する意識調査」を実施しました。

国会で「働き方改革関連法」が成立するなど、昨今「働き方改革」が注目されていますが、一方で一般家庭での主婦の「働き方改革」において、夫婦間における家事分担に認識のずれが生じていることも話題となっています。今回アイロボットジャパンが行った「日常の家事に関する意識調査」では、以下のような調査結果が得られました。

**【主な調査結果トピックス】**

◆**半数以上の主婦が日々の家事に時間が足りないと回答**

また、家事における自分の働きを時給で換算すると **平均 1,639 円**

- ・日々の家事に時間が足りないと回答 57.7%
- 大変足りないと感じる有職主婦は専業主婦の約3倍
- ・85.9%が夫にも家事に参加してほしい
- ・家事における主婦の働きを時給で換算すると 平均 1,639 円

◆**約2人に1人の主婦が家事を“手抜き”することに対して、うしろめたさを感じる  
部屋の掃除は嫌いな家事の2位にランクされるも87.2%が妻の分担と回答**

- ・家事を“手抜き”することに対して、うしろめたさを感じると回答 46.9%
- ・一番嫌いな家事 1位:食事の支度 (23.5%)、2位:部屋の掃除 (22.8%)、3位:風呂掃除 (18.2%)
- ・掃除の分担は妻が87.2%であることに對し、夫は5.2%と判明

◆**時短・スマート家電で取り入れてみたい家電の1位はロボット掃除機**

- ・現状の家事を効率的に改善する方法 1位:家族で家事分担 (53.3%)、  
2位:スマート家電の導入 (33.0%)、3位:家事代行サービスの利用 (8.7%)
- ・一番取り入れてみたいスマート家電はロボット掃除機 (37.0%)

【調査概要】

調査エリア：全国

調査対象者：20～40歳の既婚女性

サンプル数：600

調査期間：2018年7月13日～16日

調査方法：インターネットリサーチ

\*本資料に含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず『アイロボットジャパン調べ』と明記下さい。

## ＜調査結果概要＞

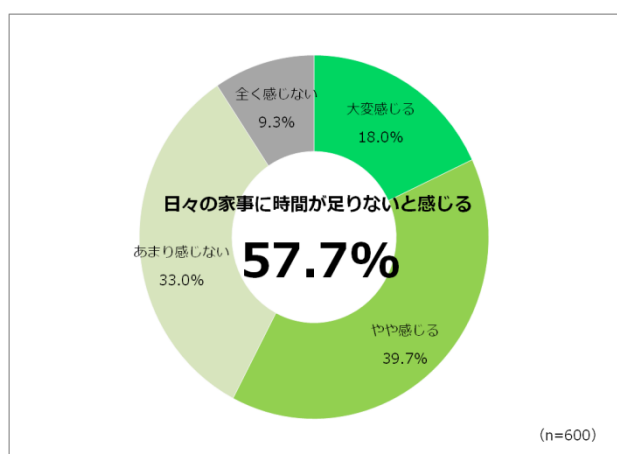
はじめに、日常の家事時間について聞いたところ、時間が足りないと感じている主婦が半数以上の 57.7%おり、特に、大変足りないと感じる有職主婦は専業主婦の約 3 倍いることが判明しました。また、夫に家事に参加してほしいかとの問いには 85.9%が参加してほしいと回答しました。特に、20 代・30 代の有職主婦では 9 割以上が夫の家事参加を望み、専業主婦でも 8 割以上と大半の主婦が家事に対し助けを求めていることが伺えます。また、家事における主婦の働きを時給換算するといくらかに相当するかという質問では平均 1,639 円との結果となりました。厚生労働省が発表している、「平成 29 年度賃金構造基本統計調査」によると、短時間労働者の 1 時間あたり賃金は女性 1,074 円のため、主婦が日常の家事に求める対価は短時間労働者の賃金の 1.5 倍以上であることが伺えます。

続いて、家事の“手抜き”に対するうしろめたさについて調査をしたところ、46.9%と約半数の主婦が感じると回答しました。また、一番嫌いな家事について聞いたところ、1 位：食事の支度 (23.5%)、2 位：部屋の掃除 (22.8%)、3 位：風呂掃除(18.2%)と回答しました。さらに、掃除について誰の分担であることが多いかを聞いたところ、妻が 87.2%、夫が 5.2%、その他 7.7%と、大半の家庭で妻が掃除を負担していることが判明しました。

最後に、現状の家事を効率的に改善する方法について伺った結果、1 位：家族で家事を分担 (53.3%)、2 位：スマート家電の導入(33%)、3 位：家事代行サービスの利用(8.7%)との順に多いことが判明しました。一番取り入れてみたいスマート家電は、1 位：ロボット掃除機 (37.0%)、2 位：食器洗い乾燥機(21.3%)となりました。

以上の調査結果より、半数以上の主婦が家事の時間が足りないと感じているものの、家事を“手抜きする”ことに対してはうしろめたさを感じる主婦も約半数いて、家事を完璧にこなそうと考える日本人らしい生真面目さが伺えました。一方で、家事時間を効率的に改善するには、夫をはじめとする家族の助けやスマート家電の導入を望んでいる主婦が多数いることが分かりました。

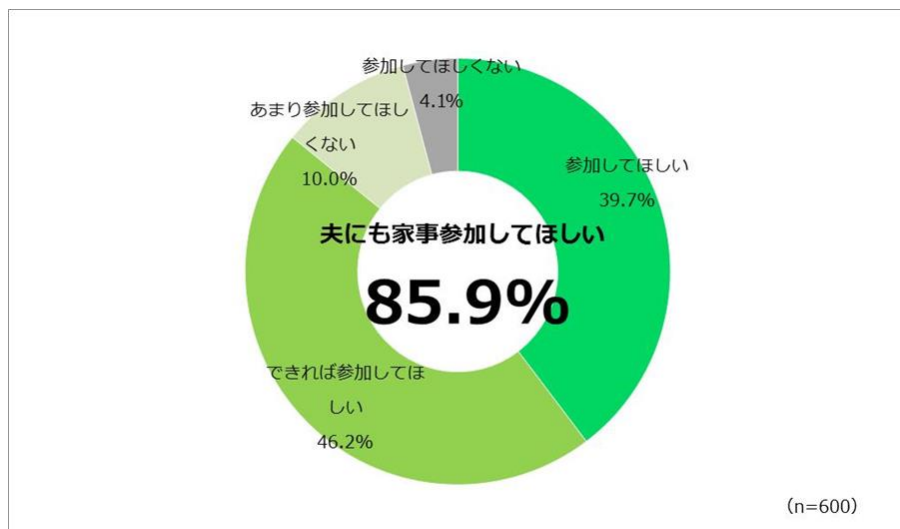
Q1：日々の家事に時間が足りないと感じていることはありますか？



	大変感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない
20 代女性 有職	24.0%	41.0%	31.0%	4.0%
20 代女性 無職	8.0%	39.0%	39.0%	14.0%
30 代女性 有職	36.0%	40.0%	21.0%	3.0%
30 代女性 無職	11.0%	38.0%	37.0%	14.0%
40 代女性 有職	47.0%	47.0%	27.0%	4.0%
40 代女性 無職	7.0%	33.0%	43.0%	17.0%

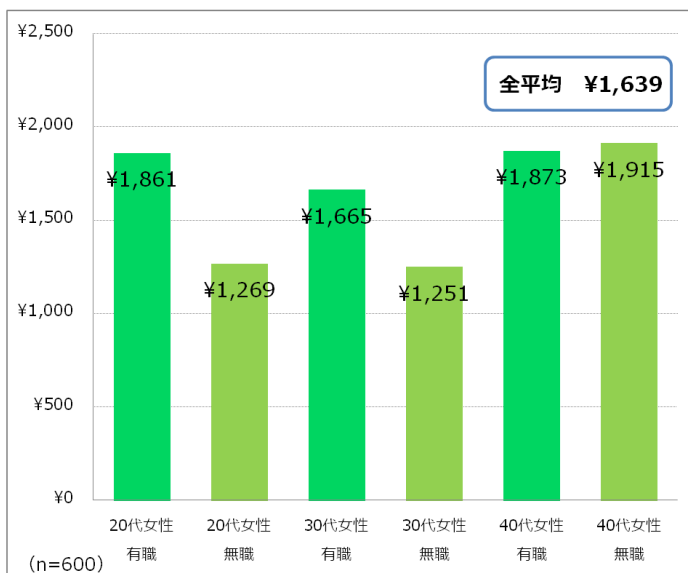
Q2：夫にも家事参加してほしいと思いますか？

(現在夫がある程度参加しているご家庭の場合、現在以上に参加してほしいかどうかをお聞かせください)

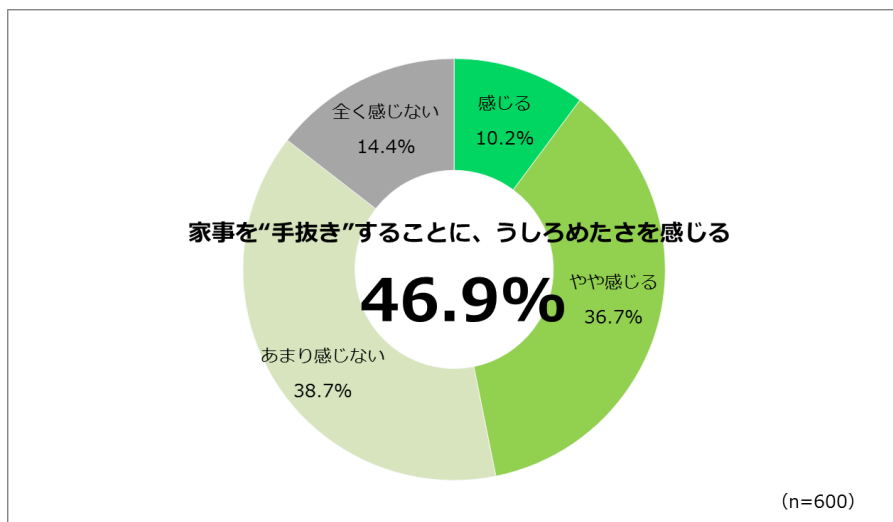


Q3：家事における主婦の働きを時給で換算するといくらに相当すると思いますか。

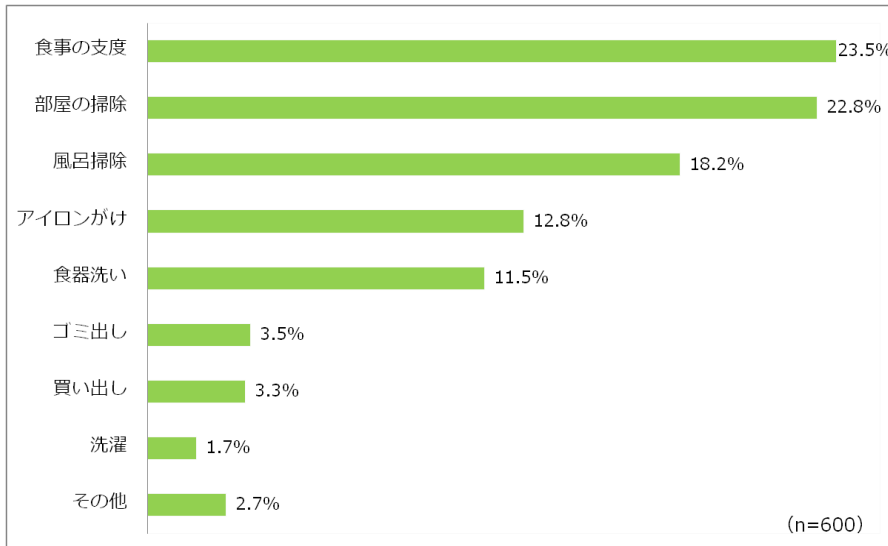
(0円～10,000円でお答えください。)



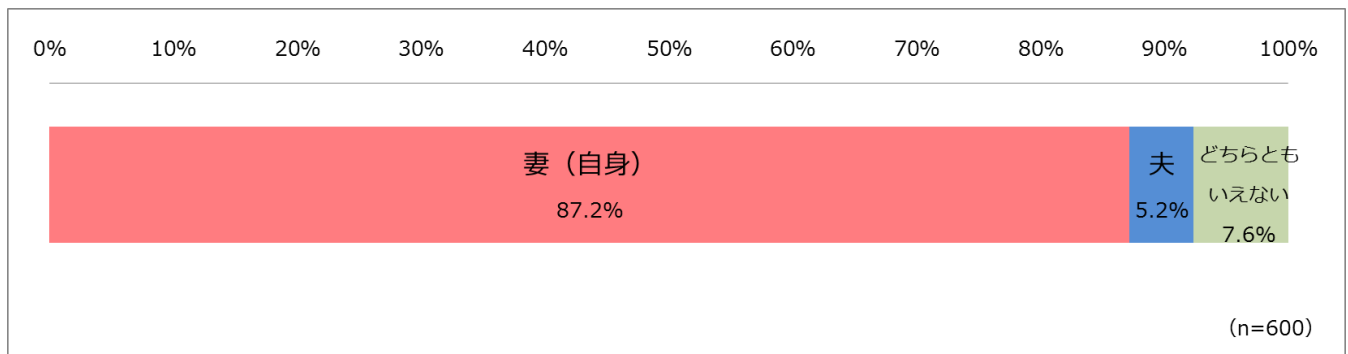
Q4：家事を“手抜き”することに対して、うしろめたさを感じますか？



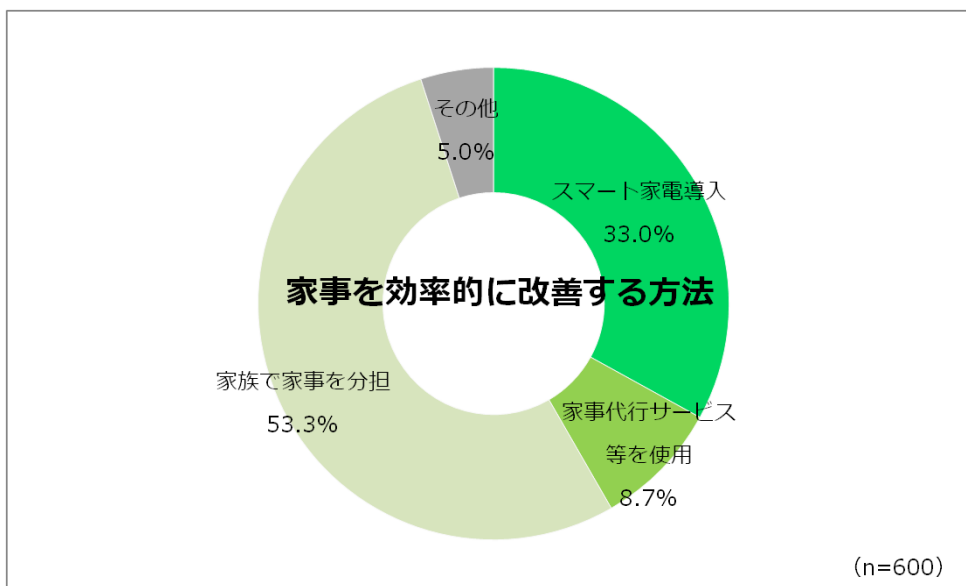
Q5：一番嫌いな家事は何ですか？



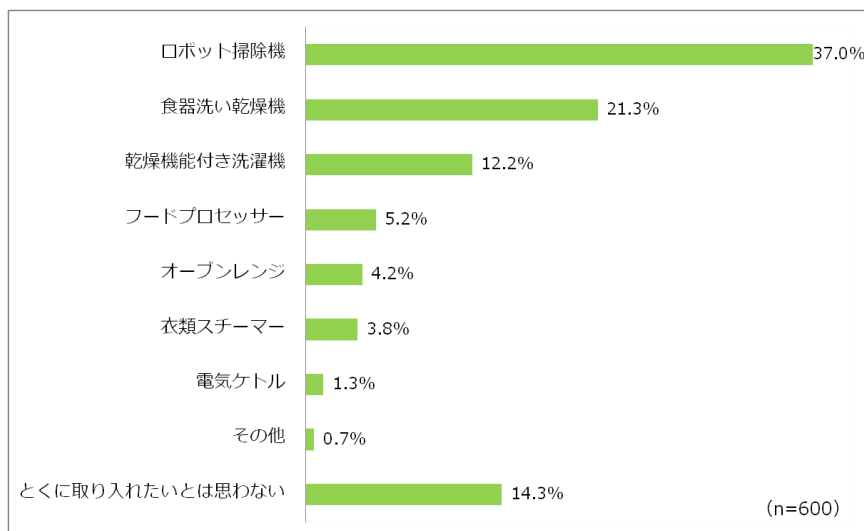
Q6：掃除は夫婦どちらの分担であることが多いですか。



Q7：現状の家事を効率的に改善するならどのような方法がよいと思いますか？



Q8：家事の時間を節約できるスマート家電や時短家電などを取り入れてみたいと思いますか？  
一番取り入れてみたい家電を一つ選んでください。



アイロボット社は、ロボット掃除機のパイオニアとして、お客様がより多くの自由な時間を得られ、生活の品質を高められるようロボティクス技術で貢献して参ります。8月3日より新たに販売を開始した「ルンバ643」は確かな清掃力と、利便性の高いオプション機能を備えながらも、コストパフォーマンスに優れたルンバのスタンダードモデルです。

## ロボット掃除機 ルンバ 643

「ルンバ643」は、確かな清掃力と、利便性の高いオプション機能を備えながらも、コストパフォーマンスに優れたルンバのスタンダードモデルです。ルンバ独自の3段階クリーニングシステムで、ホコリやチリ、大きなゴミまでしっかりかき出し、かきこみ、吸引します。ナビゲーションシステムは高速応答プロセス「iAdapt（アイアダプト）」を搭載し、数十のセンサーが部屋の状況を正確に把握し、ゴミの多い場所はキレイになったと判断するまで集中的に清掃します。清掃エリアを限定できるデュアルバーチャルウォールも付属。

●製品情報 URL：<http://www.irobot-jp.com/product/600series/index.html#detail643>



製品名	ルンバ 643
カラー	ミディアムシルバー
公式オンラインストア価格	39,880 円(税抜)
発売日	2018年8月3日(金)

### ●アイロボットについて

アイロボットは世界トップのコンシューマー向けロボットカンパニーであり、家庭内外でより多くの仕事ができるように人を支援するロボットの設計と製造を行っています。2002年にロボット掃除機ルンバ(Roomba® Vacuuming Robot)を発売し、ロボット掃除機市場を創出して以来、全世界で2,000万台以上のロボットの販売実績を誇ります。現在も、ロボット掃除機ルンバと床拭きロボットブラーバのシリーズをはじめ、清掃・床拭き・ナビゲーションにおける特許技術と先進的なコンセプトを有し、スマートホーム実現のため、ロボットとデータのエコシステムの構築に取り組んでいます。アイロボットに関するさらなる情報は、<http://www.irobot.com/>をご覧ください。

\*iRobot、iRobotロゴ、アイロボット、Roomba、ルンバ、は、アイロボット社の商標または登録商標です。